



闇バイト判別クイズ

ようこそ！

全10問のバイト勧誘を見て、
闇バイトを見抜けるか挑戦しよう💡

やさしい

むずかしい

スタート▶

結果発表！

9 / 10 問正解 🎉

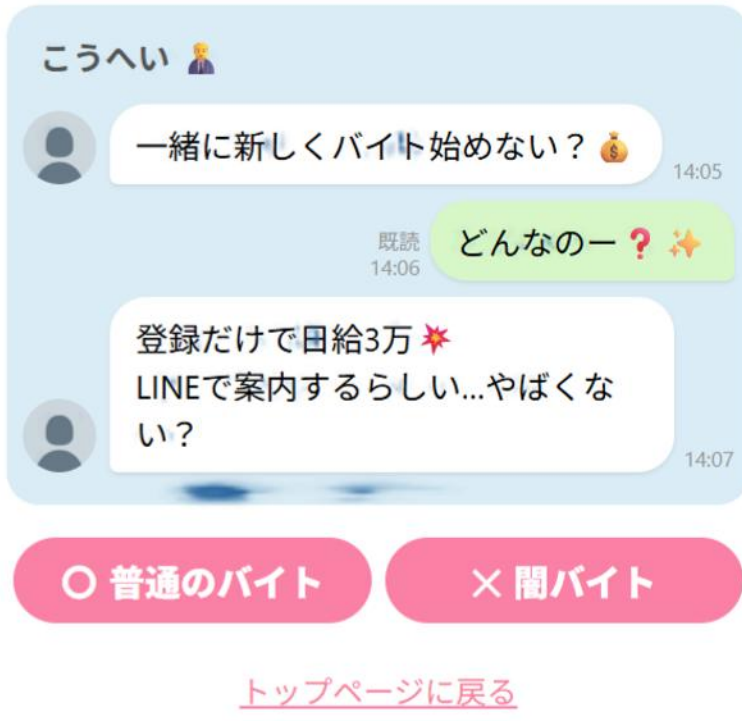
パツパツ！闇バイトの見抜き方、完璧だね
あなたは 真のプロフェッショナル タイプ！

スタートに戻る

問題の振り返り

問題 1: 正解	👍
問題 2: 正解	👍
問題 3: 正解	👍
問題 4: 正解	👍
問題 5: 不正解	👎
問題 6: 正解	👍
問題 7: 正解	👍
問題 8: 正解	👍
問題 9: 正解	👍
問題 10: 正解	👍

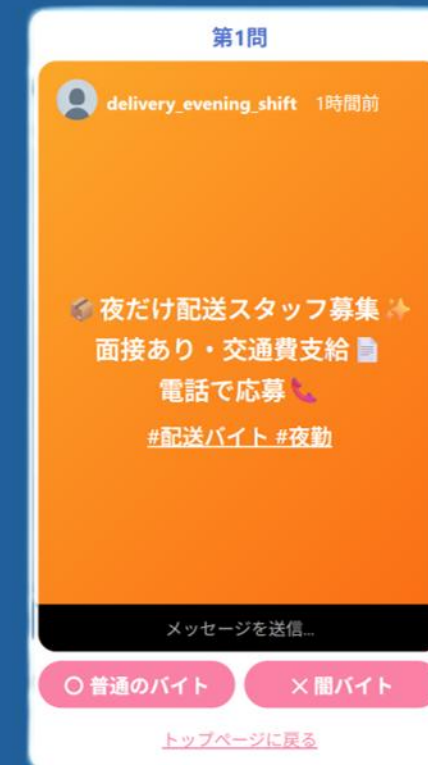
第1問



普通のバイト

闇バイト

トップページに戻る



ネットトラブル違法判定チャット

投稿やDMの内容が「違法かも？」と思ったら、ここで試しにチェックしてみましょう。

☑️ RAGを使う

4.内容についての説明：投稿されている画像は成人女性の性器をモザイク処理しているため、児童ポルノ法には該当しません。ただし、わいせつ性が認められる画像であり、不特定の人間がアクセスできる掲示板に投稿されていることから、有害情報に該当します。

SNSを見ているとAsh360に関する書き込みを見つけた。これを使うとすごく気持ちよくなるようだ

1. 違法情報の判定結果：違法である
2. 違反している法律：指定薬物の広告に該当し、薬物に関する情報を無制限に拡散することが禁止されているため。
3. 有害情報の判定結果：有害情報である
4. 内容についての説明：この書き込みは「Ash360」という指定薬物に関する情報を含んでおり、使用を推奨する内容であるため、有害情報に該当します。特に、指定薬物を使用することで「気持ちよくなる」との表現は、薬物使用を助長するものと判断されます。

例：SNSで知り合った人からお金を送れと言われた...

送信

サイバー防犯ボランティア用コンテンツ

Cybercrime Prevention Volunteer Content

文教大学サイバー防犯ボランティア × 茅ヶ崎警察署 少年補導員連絡会

Bunkyo University Cybercrime Prevention Volunteers × Chigasaki Police Station Juvenile Guidance Volunteers

1 | サイバー防犯ボランティアとは？

サイバー防犯ボランティアとは、都道府県警察に登録して活動するボランティア団体で、以下の3つの活動を主に行います。

- ・ 教育活動 : 犯罪防止のための青少年に向けた防犯教室等
- ・ 広報啓発活動 : 警察イベント協力や啓発動画等の作成
- ・ 浄化活動 : 違法・有害情報対策のサイバーパトロール等

サイバー防犯ボランティアは2025年末の時点で全国で332団体、7,633人が活動しており、学生団体が約7割を占めています。文教大学では2013年から文教大学サイバー防犯ボランティアを設置し、様々な活動を行っています。例えば教育活動では神奈川県内の小中学校を対象としたサイバー防犯教室を毎年実施しており、浄化活動ではサイバーパトロールのシステム開発等を行っています。

2 | 少年補導員とは？

少年補導員とは各警察署から委嘱され、青少年の健全育成のために警察と連携して行うボランティアです。文教大学の湘南キャンパスは神奈川県茅ヶ崎市が所在地であるため、茅ヶ崎警察署の少年補導員と連携した活動が多く、これらの活動に参加する学生の多くが少年補導員として委嘱を受けています。

少年補導員の活動内容は、街頭補導、立ち直り支援、少年相談等がありますが、近年は街頭補導の対象となるような場所に青少年があまりいないという現状を踏まえて、少年補導の場所もインターネット上を対象とすることが増えています。

3 | サイバー防犯教室と闇バイトクイズアプリ

文教大学サイバー防犯ボランティアは、神奈川県内の小中学生を主な対象としてサイバー防犯教室を行っています。このサイバー防犯教室は学校からの依頼を受けて行うもので、神奈川県警察の担当者とサイバー防犯ボランティアの学生で児童や生徒に向けた講座を実施します。教室は体育館や多目的ホール等での学年全体等を対象とした講演会形式と教室等でクラス単位で知識を深めるためのワークショップ形式があります。

これらの教室で取り扱う内容としては、性的ディープフェイクや闇バイトといった近年では青少年に身近となった問題についても取り扱います。これらの問題を教室で取り扱いやすくするために、闇バイトクイズアプリを開発しています。闇バイトクイズアプリは、実際のSNS上の闇バイト募集について、本物と偽物を○×クイズとして判定するもので、ネットパトロール等で収集した内容から問題が作成されています。闇バイトクイズアプリは、PythonおよびFlaskを用いたWebアプリとして実装しています。クイズに使用するデータは、サイバーパトロールで収集した情報を基に作成し、外部データとしてCSV形式で保持しています。

4 | 浄化活動と違法・有害情報判定チャット

浄化活動では、サイバー空間の違法・有害情報に対処するためにネットパトロールを行い、違法・有害情報を発見した際には、対応窓口であるIHC(インターネット・ホットラインセンター)や都道府県警察に情報提供を行います。

違法・有害情報の判断が難しい場合もあるため、IHCの運用ガイドラインを参照して判定を行う「違法・有害情報判定チャット」を開発することで、誰でも容易に違法・有害情報の対策を行うことができるようにしています。また、生成AIにはOpenAIのAPIを利用しており、ガイドラインのデータをRAGで読み込み、判定に利用する形式としています。実装にはPythonとFlaskを使用しWebシステムとして開発することで、チャット形式で簡単に質問することが可能な画面を提供しています。

参考文献

警察庁、令和7年度末におけるサイバー防犯ボランティア団体数等、
<https://www.npa.go.jp/bureau/cyber/pdf/20260326.pdf>
警察庁、特殊詐欺の認知・検挙状況等について、
<https://www.npa.go.jp/publications/statistics/sousa/sagi.html>
警察庁、文教大学サイバー防犯ボランティア、
https://www.npa.go.jp/bureau/cyber/what-we-do/ppp/volunteer/kanagawa_bunkyo.html
神奈川県警察、少年補導員の活動紹介、
<https://www.police.pref.kanagawa.jp/kurashi/hikoboshi/mesd1b000.html>